プログラミング技術 小学生競う

土岐 ドローンやロボットカー動かす

プログラムしたロボットカーの動きを見守る参加者＝土岐市泉が丘町の泉西公民館で

ドローンやロボットカーをプログラムで動かす「プログラミング運動会」が1日、土岐市泉が丘町の泉西公民館であり、同市内の小学生42人が参加した。

市子ども会連合会が2022年度から体験会を開催し、24年度から技術や仲間との協力性を競うイベントとなった。NPO法人デジタルライフサポーターズネット（愛知県瀬戸市）の4人が講師を務めた。

小学1～3年生はロボットカーで指定されたコースを通りながら球を運び、4～6年生はドローンで障害物を避けながら縦方向に1回転させるプログラムに挑戦。パソコンやタブレット端末内のアプリケーションから動きを指示する仕組みで、参加者は細かな微調整に苦戦しながらも、うまくいくと「できた」と喜んだ。

駄知小6年の鵜飼笑未さん(12)は「少しの風でもドローンが動いてしまうので、計算が難しかった」と振り返っていた。

（吉田英悟）

土岐の伊岐見さん 大臣表彰受賞報告

市長に

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞した伊岐見さん＝土岐市役所で

20年にわたり土岐市で民生委員・児童委員として活動してきた伊岐見忠弘さん(84)＝同市妻木町＝が昨年11月「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰」を受賞し、2日に市役所で加藤淳司市長に報告した。

伊岐見さんは、2005年4月から委員として活動。妻木地区の会長を6年間務め、昨年5月には県功労者表彰も受賞。7期20年8カ月務めて同11月末で退任した。独居高齢者を訪問して安否確認するのが主な活動で、長年務めることで関係性を育んできたという。

伊岐見さんは「家族の理解もないとできなかった。これからもバックアップできたら」と話した。

表彰は在職期間が20年以上で、都道府県知事より表彰を受けていることが条件。今回県内では伊岐見さん含め4人が受賞した。

（吉田英悟）

サクラの樹勢確認や植樹

多治見・虎渓公園 再生協が奉仕活動

巣箱の活用について説明を受ける参加者ら＝多治見市の虎渓公園で

多治見市のサクラの名所の一つ、虎渓公園（弁天町）の維持活動に取り組む「多治見桜再生協議会」は、同公園でサクラの樹勢確認や植樹などの奉仕活動をした。

同協議会は、同公園のサクラの[illegible]という[illegible]なった[illegible]多治[illegible]ラブNPO[illegible]る。

奉[illegible]が見[illegible]の2[illegible]が参[illegible]ロハ[illegible]した[illegible]どの[illegible]日[illegible]鳥の[illegible]ておの[illegible]のう[illegible]どの[illegible]う。

㊤古い町並みを走る実証実験の車両＝恵那市岩村町で
㊦実証実験の結果を報告する担当者たち＝恵那市役所で

自動運転 広域連携の実験まとめ

業務を効率化、費用削減

東濃地域推進コンソーシアム

自動運転サービスの導入に向け、東濃5市（多治見、土岐、瑞浪、恵那、中津川）と下呂市、NTT西日本でつくる「東濃地域自動運転推進コンソーシアム」は、2025年度に実施した実証実験の結果をまとめた。広域連携で業務が効率化でき、各市で単独実施した場合と比べて約1億2800万円（38%）を費用削減できた。

（石川才子）

実証実験は、各市が設定した観光や通院ルートなどの走行区間で25年9月～26年1月、運転手が同乗し、アクセルやハンドルの操作が部分的に自動となる「レベル2」で運行した。複数の市が手を組んだ取り組みは全国初ということもあり、広域連携による効果や課題も検証した。

運行面では、運転手が手動介入しない自動運転の割合は各市で83・7～95・8%と高く、手動介入は路上駐車の回避が多かった。利用者アンケートでは、約9割がまた利用したいと答えた。広域連携としては、各市での実験を一手に管制する遠隔監視室を恵那市に設けたことで、各市で監視室を設ける必要がなくなったことなどにより効率化と経費削減ができた。

今後も実証実験や自動運転の啓発を進め、早い自治体では27年度にも一定の条件下で運転手を必要としない「レベル4」の認可取得を目指す。コンソーシアムに参加している市の代表を務める恵那市の担当者は「課題を共有し、クリアしながら、交通弱者の移動支援や交通安全の向上を目指す」と意欲を示している。

実証実験の運行中、事故はなかったが、土岐、恵那、中津川市では車両トラブルによる運休が一部であった。

あらかると

◇ロケツーリズム推進事業に寄付　恵那市のロケツーリズム推進事業に、いずれも段ボール関連会社の協和ダンボール（長野県）が300万円、ピースト（埼玉県）が200万円を寄付した＝写真。両社の関連会社が恵那市にある縁で、寄付することとなった。両社とも企業版ふるさと納税を活[illegible]

◇矢野電産が瑞浪市に300万円寄付　愛知県瀬戸市の電設資材卸業「矢野電産」が企業版ふるさと納税で瑞浪市に300万円を寄付した。市は、公立小中学校に給食を供給する学校給食センター（同市土岐町）のフライヤーや、食器を消毒する機械の更新に活用する。

東濃地方の2拠点を集約した瑞浪営業所の開所に合わせて、地域貢献のため寄付を決めた。2月27日に市役所で贈呈式があり＝写真、同社の矢野哲也社長(50)は「住みやすさや子育てのしやすさは重要。お世話になる瑞浪市の役に立てれば」とあいさつした。

◇土[illegible]卒業式[illegible]岐医師[illegible]卒業式[illegible]ど2年[illegible]が巣立[illegible]卒業[illegible]人校長[illegible]病院や[illegible]

勇気を出して、さあ飛んで!!
等迦会名古屋支部　桜井公子
（可児市緑ケ丘）

多治見支局
〒507－0037
多治見市音羽町4－39
0572(22)3121
Fax(23)5331
恵那通信局
0573(26)2525
Fax(26)5209
中津川通信局
0573(66)1246
Fax(62)0108
可児通信部
0574(62)1501
Fax(61)0270

内科・消化器内科・人間ドック
しもむら医院
岐阜市神室町五丁目
☎(262)3797

恥ずかしながら「杉原サバイバー」という言葉を先日知った。第2次世界大戦中、外交官の杉原千畝が出した「命のビザ」で生き残ったユダヤ難民のこと。彼は外務省の指示に反して行動した。

サバイバーの子孫に八百津町の杉原千畝記念館で会った。イスラエル在住のハダサ・ジャコボビッツ・パルデスさん(58)。館内を歩き、ある掲示で「良い質問ね」と足を止めた。こう書いてあった。